

**幼児の実態** ・言葉より視覚による支援が有効な幼児である。  
 ・持ち物の片付け場所や、靴の履き替え場所がわかりにくい。

### ☆手立て・合理的配慮

#### 実寸大の靴の写真

- ・ 該当児の外靴、上靴の写真を実寸大に拡大したシートを、保育室出入口やトイレ入り口など、履き替えを要する場所に置く。



#### 絵の表示

- ・ ロッカー内のフックに掛けるものを、絵で知らせる。(かばん、スモック、帽子等)



### 支援を受けてみて

- ・履き替える場所に写真シートを置くことで、この場所で履き替えるということがわかり、自分から行動に移すことができる。
- ・実寸大の写真の上に自分の靴を脱いで載せることで、履き替えることが遊びのように楽しく習慣付いた。
- ・フックそばの絵を見ながら持ち物を自分で掛けることができるようになった。
- ・「見ただけでわかる支援を工夫していただき、自分でわかってできることが増えました。(保護者より)」